

6. 市民協働を具体化する取り組みについて

① 「ひょうごふれあいランニングパトロール」を視察して

【答弁】

兵庫県で取り組まれています「ひょうごふれあいランニングパトロール」は、防犯ボランティアの高年齢化・固定化という課題の解消を目的に神戸新聞社、アシックス、兵庫県警の三者が連携協定を締結し、官民協働事業として推進するボランティア活動であるとお聞きしています。

健康増進や体力維持などで普段何気なく行われているランニングも、参加者全員がおそろいのユニホームを着用し、ゆっくりと挨拶などの声掛けをしながら走るだけで、まちの安心安全につながるという発想は、日頃スポーツに慣れ親しんでいる市民はもちろんのこと、地域の防犯運動や社会福祉活動にご協力いただいているあらゆる年代の皆様にも共感、賛同いただける地域コミュニティイベントになりうるものと認識しているところでございます。

本市におきましても、無理なく誰もが自主的に参加できるランニングを通じて、防犯ボランティアの活性化、犯罪等の未然防止、自主防犯意識の向上、住民の安心感の醸成を図ることができるという意義深い活動であると思われますことから、「ひょうごふれあいランニングパトロール」や他の事例も参考にしながら、どのような仕組みづくりができるかにつきまして、市内のスポーツ施設の管理運営を委ねている指定管理者などと実施に向けて協議してまいります。